

三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主の皆さまへ

第5期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)



Quality for You 
MUFG



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成21年度の業績およびグループの現況などをご説明いたします。

平成21年度の業績

平成21年度の連結当期純利益は、前年度の赤字から6,456億円改善し、3,887億円の黒字となりました。これは、市場関連収益や国内外の貸出収益が堅調に推移し業務粗利益が増加したこと、システム統合の効果や経費削減努力により実質で営業費が減少したこと、株式相場の好転に伴い株式等関係損益が大幅に改善したことなどが主な要因です。

貸出は、泉州銀行の非連結化や社債や株式など直接金融市場の正常化に伴い海外貸出が減少したことを主因に減少しましたが、預金は国内預金の大幅増加により堅調に伸びております。

財務健全性の観点では、1兆円の普通株増資を行ったことなどにより、連結自己資本比率およびTier1（中核的自己資本）比率はそれぞれ14.87%、10.63%と前年度末比大幅に向上し、資本基盤は一層強固となりました。また、不良債権比率も1.50%と引き続き低水準にとどまっております。

普通株式の配当につきましては、期初予想どおり、1株当たり期末配当6円、中間配当と合わせた年間配当は12円といたしました。

経営課題への取り組み

施策面では、3カ年の中期経営計画をスタートさせ、前半を経営基盤を再構築する期間と位置づけ、円滑な資金供給など社会の血流機能を果たすことに努めた上で、経費削減や人員の再配置、保有株式の削減などの効率化を進めました。また、昨年12月には新たな自己資本規制を先取りして資本増強を実施するなど、さらなる財務基盤の強化にも取り組みました。

成長戦略では、高成長の続くアジアで拠点網の一層の充実を図るなど成長に向けた態勢整備を進めたほか、モルガン・スタンレーとの戦略的提携では、グローバルな協働を推進するとともに、本年5月には、本邦証券業界のリーディング・カンパニーをめざして、日本における共同出資による証券事業をスタートさせました。

平成21年度は、金融危機の余韻覚めやらぬ厳しい経営環境下ではありましたが、期初の目標を上回る業績をあげるとともに、将来の成長に向けた布石を打つことができました。平成22年度は、中期経営計画の2年目にあたり、経営基盤の再構築から成長戦略の展開に軸足を移す重要な年と位置づけております。効率化を一層進めつつ、お客さまのニーズにお応えする商品・サービスのご提供に努めるとともに、モルガン・スタンレーとの戦略的提携を含むCIB業務やアジアビジネスなど重点事業領域には積極的に資源配分を行い、成長戦略を強力に推進してまいります。

MUFGグループは、信頼と信用の拠り所としての「強さ」と「品格」をモットーに、グローバルベースでも名誉ある地位を占める総合金融グループをめざし、役職員一同、力を合わせてまいります。株主の皆さまにおかれましては、ますますご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成22年6月

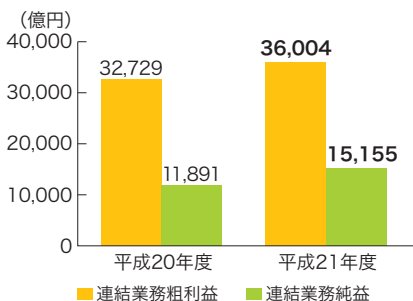
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

永易克典

決算のポイント

- 連結当期純利益は、資金利益を中心に業務粗利益が増加する一方、営業費は横ばいにとどまり、株式等関係損益も改善したことなどから、前年度比6,456億円増益の3,887億円
- 貸出金は、金融市場の正常化に伴う国内外法人貸出の減少などから、前年度末比7.1兆円減少。預金は、国内預金の大幅増加などにより前年度末比3.7兆円増加
- 連結自己資本比率は、前年度末比3.09ポイント上昇の14.87%

連結業務粗利益・連結業務純益



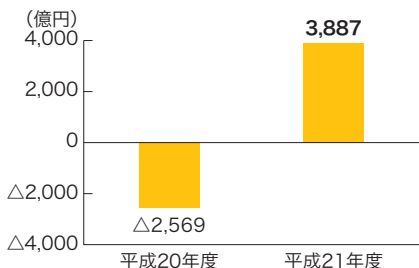
■ 損益の状況

連結業務粗利益は、市場関連収益や国内外の貸出収益が堅調に推移したことに加え、平成20年12月に連結子会社化したアコムの収益が連結決算に反映されたことを主因に、前年度比3,275億円増加し、3兆6,004億円となりました。

営業費は、前年度比横ばいの2兆848億円となりましたが、システム統合の効果に加え、グループを挙げて経費削減に取り組んだ結果、アコム連結化要因を除くと、前年度比686億円の減少となりました。この結果、連結業務純益は前年度比3,263億円増益の1兆5,155億円となりました。

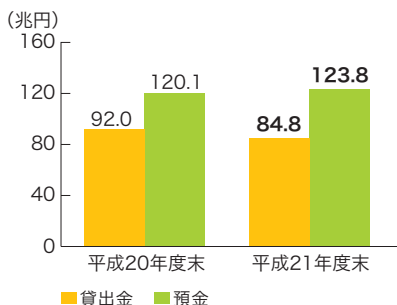
与信関係費用総額は、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行の単体合算では前年度比ほぼ横ばいとなりましたが、連結では、その他連結子会社で増加したほかアコム連結化要因もあり、前年度比2,167億円増加の8,252億円となりました。一方、株式等関係損益は株式相場の回復に伴い前年度比4,412億円と大幅に改善しました。以上の結果、連結当期純利益は、前年度比6,456億円増益の3,887億円となりました。

連結当期純利益(損失)



(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金

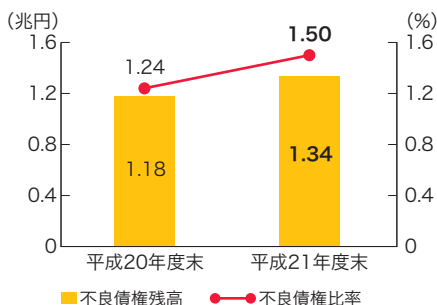


貸出金・預金の状況

貸出金は、社債や株式など直接金融市場の正常化に伴う国内外における法人貸出の減少や泉州銀行が連結対象から外れたことから、前年度末比7.1兆円減少し、84.8兆円となりました。

預金は、国内預金の大幅増加などにより、前年度末比3.7兆円増加の123.8兆円となりました。

不良債権残高・比率

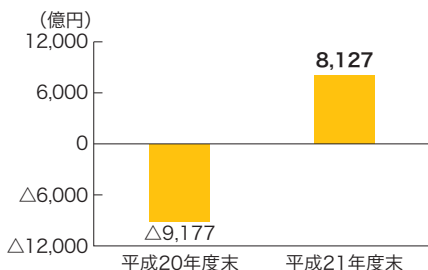


不良債権残高・比率の状況

不良債権残高*は、前年度末比1,588億円増加の1.34兆円となりました。不良債権比率*は、前年度末比0.25ポイント上昇の1.50%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

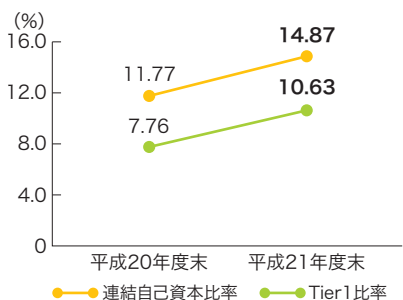
有価証券の含み損益



有価証券含み損益の状況

株式相場の回復に伴う国内株式の評価損益改善を主因に、有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、前年度末比1兆7,304億円改善し、8,127億円の含み益となりました。

連結自己資本比率

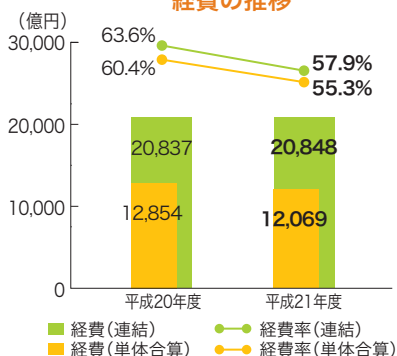


■ 連結自己資本比率の状況

連結自己資本比率は、前年度末比3.09ポイント上昇の14.87%となりました。Tier1比率は前年度末比2.86ポイント上昇し10.63%となりました。普通株増資や有価証券評価損が含み益に転じたことなどにより、自己資本が増加したことが主な要因です。

平成21年度決算に関するQ&A

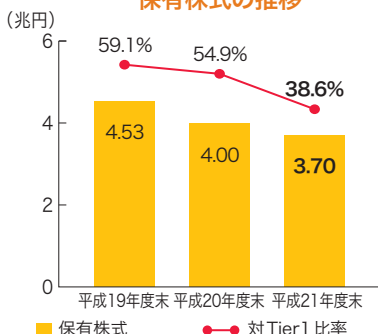
経費の推移



Q 経費(営業費)削減の状況について説明してください。

A 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行単体合算の経費は、新システムへの移行完了による統合効果に加え、全社的に経費削減を進めた結果、前年度比785億円減少しました。この結果、アコム連結化の増加要因があったものの、連結営業費は前年度比横ばいにとどまりました。引き続き一層の経営効率化に取り組んでいきます。

保有株式の推移



Q 保有株式*の削減状況について説明してください。

A 株価変動の影響を抑制するため、お客さまのご理解をいただいた上で保有株式の削減を進めています。平成21年度には約2,700億円の株式を売却。Tier1資本が増加したこともあり、保有株式残高の対Tier1比率は38%台まで低下しました。今後も削減に向けた努力を続けていきます。

* その他有価証券で時価のある国内株式の減損後取得原価。
三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

損益の状況(連結)

(単位：億円)

	平成20年度	平成21年度
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	32,729	36,004
うち資金利益	19,759	21,771
うち役務取引等利益	9,700	9,898
営業費	20,837	20,848
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	11,891	15,155
臨時損益(△は費用)	△ 11,466	△ 9,030
うち与信関係費用	△ 6,487	△ 7,584
うち株式等関係損益	△ 4,087	324
経常利益	828	5,456
特別損益(△は損失)	322	510
うち償却債権取立益	382	650
うち減損損失	△ 158	△ 178
うちのれん償却額	—	△ 279
法人税等合計	3,019	1,509
少数株主利益	700	570
連結当期純利益(△は損失)	△ 2,569	3,887
与信関係費用総額(△は費用) (信託勘定償却+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用 +貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連))	△ 6,084	△ 8,252

資産・負債の状況(連結)

(単位：億円)

	平成20年度末	平成21年度末
資産の部	1,987,339	2,041,069
うち貸出金	920,568	848,806
うち有価証券	483,141	639,644
負債の部	1,901,632	1,928,074
うち預金	1,201,495	1,238,919
純資産の部	85,706	112,994

連結自己資本比率の状況(第一基準)

(単位：億円)

	平成20年度末	平成21年度末
自己資本比率	11.77%	14.87%
Tier1 比率	7.76%	10.63%
自己資本	114,784	139,917
Tier1	75,751	100,096
総所要自己資本額	77,994	75,265

「モルガン・スタンレーとの日本における証券事業の統合

平成22年5月、MUFGとモルガン・スタンレーは、両社のグローバルな戦略的提携の一環として、日本における証券事業を統合し、共同出資による2つの新証券会社、「三菱UFJモルガン・スタンレー証券」と「モルガン・スタンレーMUFG証券」をスタートさせました。

両社は、緊密な連携を図るとともにMUFGグループとモルガン・スタンレーのネットワーク、顧客基盤を活かして、お客さまの高度化・多様化する金融ニーズに的確・迅速にお応えすることで、お客さまに最も支持される本邦証券業界のリーディング・カンパニーをめざします。

なお、ご愛顧いただいていた旧三菱UFJ証券の商品・サービスは、新会社「三菱UFJモルガン・スタンレー証券」が、引き続きご提供いたします。



「じぶん銀行」ネット専業銀行最速で100万口座達成

「じぶん銀行」の口座数が、平成22年5月に100万口座を突破しました。開業後1年10ヵ月での達成は、ネット専業銀行としては最速です。

「じぶん銀行」は、三菱東京UFJ銀行がKDDI株式会社と共同で設立した新しい銀行です。いつでもどこでも携帯電話から残高照会や振込、定期預金作成ができる便利さが世代を問わず多くのお客さまにご好評をいただいています。さらに、24時間リアルタイムの為替レートで取引ができる外貨預金や、保険・カードローンの申込など携帯電話1つでできるサービスを次々と拡大してきました。

平成22年6月には、三菱東京UFJ銀行のインターネットバンキングから残高照会ができるサービスも開始しました。今後も、ますます便利なサービスを拡充していきます。



三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 成都支店開業

平成22年3月、三菱東京UFJ銀行の中国現地法人「三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司」の成都支店が開業しました。西部地区では初めての邦銀の支店となります。

四川省の省都である成都市は、古くから内陸部における商業、金融の中心でしたが、特に近年は1,100万人を超える人口を背景に急速に成長しています。平成20年の四川大地震からの復興も進んでおり、日系企業の進出も本格化しています。成都支店の開業により、中国では8支店2出張所1駐在員事務所の体制となりました。加えて、沿岸部の広州南沙では、新たに出張所開設の準備を進め、さらなるネットワークの強化を図っています。

また、平成22年5月には、外国銀行として初めて中国本土で人民元建て金融債を発行するなど、同国におけるビジネスの拡大に努めています。

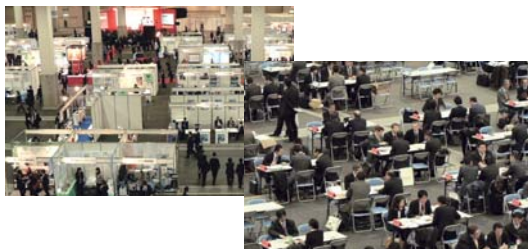


「第7回 Business Link 商賈繁盛 at INTEX OSAKA」開催

平成22年2月、大阪で大規模な商談会「第7回 Business Link 商賈繁盛 at INTEX OSAKA」を開催しました。

当日は、全国からさまざまな企業規模や業種のお客さま約2,300社(約6,800名)にご参加いただき、4,500件を超える商談が活発に行われました。また、「新エネルギー」「省エネルギー」「食・農業」「少子高齢化」などのテーマにそって、お客さまがブースを出展し、製品・商品の紹介を行いました。

今後も、MUFGグループの充実した国内外のネットワークを活かしてビジネスマッチング(お取引先のご紹介)に積極的に取り組み、お客さまの経営課題の解決や新たな事業展開をサポートしていきます。



三菱東京UFJ銀行 ミラノ支店

ミラノを知る

イタリア第1の経済都市、ミラノ市。イタリア北部にあるロンバルディア州の州都で、人口は首都ローマに次ぐ約130万人です。紀元前600年ごろのケルト人の町が起源とされており、ミラノを表すラテン語のMediolanumは、古代ケルト語の「平原の真ん中」という言葉に由来しているといわれています。古くは西ローマ帝国の首都として、14世紀からはミラノ公国として栄えました。また、イタリア北部は恵まれた水陸の交通の便やアルプスの水力などを背景にして歴史的に工業が盛んな地域で、ミラノ市はその中核として発展してきました。



平成27年にはミラノ万博の開催が予定されており、市内の至るところで都市整備プロジェクトが進められています。伝統ある経済都市もその姿を大きく変えようとしています。

拠点紹介

ミラノ支店は昭和47年に開設(昭和37年に駐在員事務所を設置)。現在は、派遣行員3名、現地スタッフ40名が勤務し、イタリアに進出している約300社の日系企業のほとんどとお取引があります。ミラノコレクションなどファッションで有名なため、服飾業界のお取引先が多いと思われるがちですが、工作機械や自動車関連業界とも多くのお取引があります。平成20年にはイタリア投資促進機関と業務提携契約を締結し、日系企業の進出をより一層支援しています。さらに、近年は、イタリア大手企業との取引にも積極的に取り組んでいます。



ミラノからの現地レポート

ミラノのシンボルである大聖堂ドゥオモは、ゴシック建築では世界最大の教会で、14世紀のミラノ公国の時代に着工され、完成までなんと500年もかかりました。

屋上からは、ミラノを守護する願いを込めて一番高い塔に建てられた黄金のマリア像を間近に見ることができ、晴れた日には、アルプスの雄大な景色も望めます。



1 ドゥオモ

ミラノ公国を支配していたヴィスコンティ家によって造られ、その後、スフォルツァ家によって改築。その際、レオナルド・ダ・ヴィンチも設計に携わりました。現在は、隣接するセンピオーネ公園と



2 スフォルツェスコ城

共に市民の憩いの場となっています。城内にある博物館は、ミケランジェロの最後の作品である「ロンダーニのピエタ」の彫刻が展示されている必見の観光スポットです。

ミラノから北へ車で約1時間のところにあるオルタ湖。その中央には、教会や修道院など石造りの建物に覆われた「聖なる島」サン・ジュリオ島が浮かび、湖岸には世界文化遺産のサクロ・モンテ（聖なる山）があるなど、北イタリア湖水地方の中でも最もロマンチックな湖として知られています。

その神秘的な魅力から、ミラノっ子の結婚式会場としても人気があります。



3 オルタ湖

夏のミラノといえばジェラート。小さなお店でも30種類以上のジェラートが色鮮やかに並びます。バニラ、カフェ、ピスタチオ、レモンなどから2種類を選ぶのが定番ですが、最近では刻んだチョコレート混ぜたものが人気です。

お腹一杯イタリアンを食べた後でもなぜか食べられるジェラート。オフィス街でも昼食後、食べながら歩いている光景をよく見かけます。パンにはさんで味わう人もいます。



4 ジェラート

MUFGグループは、社会貢献活動の重点分野のひとつとして、「次世代社会の担い手育成」に取り組んでいます。その一例をご紹介します。

卒業記念サッカー大会「第3回MUFGカップ」開催

MUFGグループは、平成22年1月から3月にかけて、小学生サッカー大会を東京、愛知、大阪の各地で開催しました。

この大会は、スポーツを通じて仲間との絆や相手チームへの尊敬、周りの人たちへ感謝する心などを学んでほしいという思いを込め、卒業間近の小学6年生を対象に、チームメートとの小学校時代の最後の思い出づくりになるようにと実施しているものです。

大会には、あわせて2,100名の小学生が参加。元Jリーガーによるサッカー指導やNPO団体による礼儀・作法に関する講座も開催し、グループ社員100名もボランティアとして参加しました。

参加した子どもたちからは「小学生最後の試合で、チームメートと一緒に精一杯力を出し切ることができてよかった」など、喜びの声が寄せられました。



金融経済教育支援プログラム「金融経済を学ぼう」

「金融経済を学ぼう」は、MUFGと筑波大学が共同で開発した教育プログラムです。「使う」「貯める」「借りる」というテーマで、子どもたちにお金の大切さや金融の仕組みなどを楽しく学んでもらうことを目的としています。全国各地の小学校の授業で活用いただいております、MUFGグループの社員も講師として参加しています。

平成22年3月に開催された「キッズ・マーケット・キャンプ」では、この教材を使った授業が行われました。「キッズ・マーケット・キャンプ」とは、NPO法人金融知力普及協会などが小中学生を対象に、金融や経済への興味を高めてもらうために実施している金融教育プログラムです。当日は、「借りる」をテーマとした授業が行われるとともに、三菱東京UFJ銀行本店のロビーやディーリングルームを見学してもらいました。

参加した子どもたちからは、「お金を借りるには、きちんとした知識や計画が必要であることを教えてもらい、お金の大切さがよくわかった」「普段見ることのできない場所を見学し、銀行にはいろいろな仕事があることを知ることができた」といった感想が寄せられました。

「金融経済を学ぼう」ホームページ：<http://www.kinyu-keizai.jp/>



小学校での授業の様子



「キッズ・マーケット・キャンプ」での授業の様子

平成22年3月、東京・大阪・名古屋で開催した株主さま向けセミナーの概要をご報告します。

本セミナーに多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。抽選によりご招待した株主さま、3会場あわせて377名にご来場いただきました。

当日は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの五十嵐執行役員調査部長が「内外の経済・金融を展望する」と題して講演を行いました。セミナー後の質疑応答では、今後の財政の見通しや子ども手当の内需への効果、中国の成長性や不動産市場の動向など、多数の質問が寄せられました。

セミナー終了後のアンケートでは、約9割の株主さまから「大変良かった・良かった」「今後も同様のセミナーを続けてほしい」とのご評価をいただきました。

アンケートなどでいただいたご意見を参考に、今後も株主の皆さまを対象としたセミナーの充実を図ってまいります。

なお、次回は平成22年8月に東京にて株主さま向けセミナーを開催する予定です。詳細につきましては、次項の「開催概要」をご覧ください。



「2010 株主特典ピーターラビット™オリジナルグッズ」申込受付終了のお知らせ

「2010 株主特典ピーターラビット™オリジナルグッズ」のお申込受付は、平成22年1月末日をもって終了いたしました。多くの株主さまからご応募いただき、誠にありがとうございました。

なお、「ご優待クーポン券」は平成22年12月30日までご利用いただけます。詳細は平成21年12月にお送りいたしました「ご優待サービスご利用ガイド2010」をご確認くださいませようお願い申し上げます。

平成22年優待制度の対象株主さま：平成21年9月30日時点の当社株主名簿に、100株以上保有と記載された株主さま


ご優待基準日：毎年9月30日の年1回

株主さまのご不在・住所不明などの理由により当社に返送されました優待グッズの保管期限は、平成22年9月30日までとなります。ご了承のほどお願い申し上げます。

MUFG 株主セミナー開催のお知らせ

日頃ご支援いただいております株主の皆さまを対象に、「MUFG 株主セミナー」を東京で開催いたします。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

開催概要

開催日時	[第1回] 平成22年8月25日(水) 13:30 ~ 16:00 頃 [第2回] 平成22年8月27日(金) 13:30 ~ 16:00 頃
開催場所	三菱東京UFJ銀行内会議室およびディーリングルーム(東京都千代田区)
内容	【第一部】為替相場セミナー (為替相場の動向をアナリストが解説いたします) 【第二部】ディーリングルーム見学 (ディーラーが取引を行う現場をご覧ください) 
募集対象者	平成22年3月末時点で当社株式を100株以上お持ちの株主さま (ご同伴者1名さままで可)
募集人数	各回100名さま(ご同伴者含む)

応募要領

応募方法 同封の「MUFG 株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り：平成22年7月14日(水)消印有効

ご記入要領

- ご希望の開催日をどちらかお選びください。
- 株主さまのご住所、お名前、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者がある場合、その方のご住所、お名前をご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

応募多数の場合、抽選といたしますのであらかじめご了承ください。

厳正な抽選の上、当選された株主さまには平成22年8月10日頃にご招待状をお送りいたします。

(ご注意)

- 当日の受付時刻および集合場所などの詳細につきましては、当選された株主さまに別途ご案内いたします。
- 参加費は無料ですが、開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただけます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主セミナー係
電話：03(3240)8111(代)

ホームページのご紹介

MUFGのホームページでは、株主・投資家の皆さま向けに最新のニュースリリースや財務情報、株主優待情報などを掲載しています。 URL ▶ <http://www.mufg.jp/>

トップページ

株式・債券情報

株式に関する事務手続き、株主総会や配当の情報を掲載しています。

社会とともに

MUFGグループのCSR（企業の社会的責任）活動を紹介しています。

最新 IR 資料

最新の決算短信、有価証券報告書、投資家説明会資料などを掲載しています。

The screenshot shows the MUFG website homepage. At the top, there is a navigation bar with links for 'MUFGについて', 'IRライブラリ', '株式・債券情報', '社会とともに', 'ニュースリリース', and '個人投資家の皆さまへ'. Below the navigation bar is a banner with the text 'Quality for You' and a photo of a family. The main content area is divided into several sections: '株価情報' (Stock Price Information) on the left, '最新ニュースリリース' (Latest News Releases) in the center, and '最新IR資料' (Latest IR Materials) on the right. At the bottom, there are four columns of links: 'MUFGについて', 'IRライブラリ', '株式・債券情報', and '社会とともに'. Callouts from the surrounding text boxes point to these sections on the website.

ニュースリリース

最新のニュースリリースを掲載。「ニュースリリース配信サービス」にご登録いただくと、最新のニュースリリース掲載をEメールにてお知らせします。

個人投資家の皆さまへ

個人投資家の皆さま向けに当社の事業内容や業績の推移をご紹介します。

▶ [詳細は右ページへ](#)

株主優待情報

株主優待制度に関する情報を掲載しています。

個人投資家の皆さまへ

The screenshot shows the MUFG website's '個人投資家の皆さまへ' (For Personal Investors) page. Callouts highlight several features:

- MUFGからのお知らせ** (News from MUFG): A section for the latest news, including a notice about the 2010 shareholder meeting and a new corporate magazine.
- MUFGについて** (About MUFG): Information about the MUFG Group.
- 業績について知りたい** (Want to know about performance): A section summarizing recent performance.
- 動画で見るMUFG** (Watch MUFG in video): A section for videos about the company.
- よくあるご質問** (FAQ): A section for frequently asked questions.

MUFGからのお知らせ

投資家セミナーや株主セミナーなど、個人投資家、株主の皆さま向け活動をご紹介します。

業績について知りたい

直近の業績をコンパクトにまとめて説明しています。

動画で見るMUFG

決算説明会や株主総会などの動画をご覧いただけます。

よくあるご質問

皆さまからよくいただくご質問と回答を掲載しています。

当社ホームページが IR サイトランキングで連続上位入賞

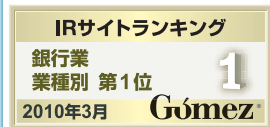
当社ホームページは、大和インベスター・リレーションズ株式会社の「インターネット IR・ベスト企業賞」に、また、ゴメス・コンサルティング株式会社からは「IRサイト総合ランキング・ベスト20企業」にそれぞれ4年連続で選出されました。今後も使いやすいホームページをめざしていきます。



大和インベスター・リレーションズ(株)
「インターネット IR・ベスト企業賞」



ゴメス・コンサルティング(株)の
「IRサイト総合ランキング・ベスト20企業」



取締役・監査役／株式事務のご案内

取締役・監査役（平成22年6月29日現在）

取締役（代表取締役）	おきはら たかむね 会 長 取 締 役	あきくさ ふみゆき 秋 草 史 幸	取締役*	わたなべ かずひろ 渡 邊 一 弘
取締役（代表取締役）	おかうち きんや 副 会 長 取 締 役	たけうち かずお 竹 内 和 男	取締役*	おおとし たくま 大 歳 卓 麻
取締役（代表取締役）	ながやす かつのり 社 長 取 締 役	ひらの のぶゆき 平 野 信 行	常勤監査役	やすだ しやうた 安 田 正 太
取締役（代表取締役）	おおもり きょうた 副 社 長 取 締 役	てらおが しゆんげい 寺 岡 俊 介	常勤監査役	まえだ てつお 前 田 哲 男
専務取締役（代表取締役）	さいとう ひろし 斎 藤 広 志	わち かおる 和 地 薫	監査役**	たがすか つとむ 高 須 賀 荔
専務取締役（代表取締役）	かめい のぶいげ 亀 井 信 重	おやまだ たかし 小 山 田 隆	監査役**	おかもと くいえ 岡 本 園 衛
常務取締役（代表取締役）	はせがわ まさお 長 谷 川 理 雄	あらか りゅうじ 荒 木 隆 司	監査役**	いけだ やすし 池 田 靖

* 荒木 隆司、渡邊 一弘、大歳 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 高須賀 荔、岡本 園衛、池田 靖の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日／中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載 URL : http://www.mufig.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)
	事務取扱場所
	お問い合わせ先・ 郵便物送付先
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-7111(通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

■ 株式に関するお手続き

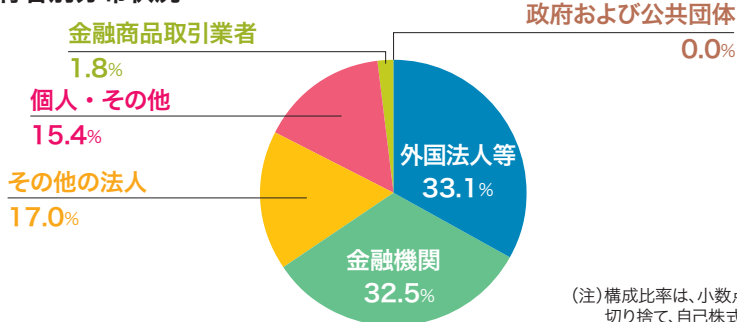
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま 口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま 上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注)「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

株式の状況(普通株式) (平成22年3月31日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,148,414,920 株
	株主数	776,669 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	847,661,900	5.99
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	629,455,000	4.44
3 日本生命保険相互会社	285,603,153	2.01
4 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ	275,722,684	1.94
5 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	217,214,650	1.53
6 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 9)	210,368,800	1.48
7 オーディー 05 オムニバス チャイナ トリーティ 808150	180,960,350	1.27
8 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
9 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウト	162,305,975	1.14
10 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.05
合計	3,133,555,665	22.14
発行済株式総数	14,148,414,920	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人であります。

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式会社に関するお手続きについてご不明な点がございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話：0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)